

課題リスト案(議論を通じて出された課題を元に作成)

資料2

No.	分類	該当自治体	課題	必要となりそうなデータ例
1	人口問題	八王子市	少子高齢化に対して、公共建物、社会資本の配置などの計画を行政と住民が共に考えていける仕組みができないか	・公共施設データ ・人口分布データ ・都市計画資料
2	人口問題	—	人口問題(構造の変化、減少など)を我がこととして考えにくく、自分の将来の暮らしぶりを想像する際に想起できないため、人口問題に対して個人レベルでのアクションを取ることが困難	・コーホート別人口動態データ ・各地の行政の財政データ
3	人口問題	町田市	人口構成の地域的バランスの差を縮小化できないか	・人口分布データ
4	まちづくり	豊島区	街と企業のコラボによる地域活性ができないか	・地域の企業情報
5	まちづくり	豊島区	街がどのように変化しているかが正しくわからない	・人口動態データ
6	まちづくり	八王子市	地域活性に繋がる空き地の活用ができないか	・空き地データ
7	まちづくり	—	現在のライフスタイルに合わせた地域活性化が必要	・人の移動データ(GPS携帯) ・統計データ ・移動しない人のデータ ・地域のコミュニティとなりうる店舗の情報 ・建物の状況(建築年、老朽度等) ・地域活性化の成功事例
8	インフラ	藤沢市	社会インフラの安全性に関する情報公開	・点検データ ・施設台帳データ
9	防犯	—	子供の見守りなどの防犯パトロールの効果向上を図りたい	・犯罪発生情報
10	防犯	浦安市	防犯情報が各機関、組織に点在しており一元化できていない	・犯罪発生情報
11	防災	八王子市	災害発生時の児童の安否確認	・学校施設データ ・通学路データ
12	防災	伊奈町	長年住んでいる人の伝承すべき知識が若者や新しい住民に伝わっていない	・危険箇所データ
13	防災	伊奈町	PCなどを持っていない独居老人などの避難誘導をどうするか	・避難所データ ・要援護者情報
14	防災	—	大都市における洪水時の地下構造部(地下鉄、地下街、変電所等の地下インフラ施設)への浸水による大きな被害への不安	・地下構造物データ
15	防災	—	事前の情報整備や情報の周知(要援護者情報、備蓄品の内容および場所など)	・備蓄物資データ ・要援護者情報
16	防災	—	津波等の有事の際に観光客(外国人を含む)が避難場所まで行動するための情報提供	・避難所データ
17	防災	—	発災直後の安否確認、住民同士の避難支援(共助)	・住民情報(住所、家族構成)
18	防災	—	道路の被害状況と復旧(開通)時期に関する迅速な情報提供が必要であるが、道路は市町村、県、国に所管が分かれており、情報の一元管理がされていない	・道路データ(交差点名等)
19	防災	—	復旧期における生活情報(衛生施設、医療機関など)の収集と提供	・医療施設データ
20	交通	茨城県	高齢化により自動車が利用できない住民が増える状況下で、路線バス等の公共交通をいかに存続させるかが問題	・バス路線データ ・公共交通利用状況データ
21	交通	—	路線バスの乗客の需要とバスの供給バランスが難しく、天候(雨)や鉄道の人身事故の影響による急激な利用者増への対応も求められる	・バス路線データ ・公共交通利用状況データ
22	交通	藤沢市	交通事故多発箇所の周知による再発の防止	・交通事故データ
23	交通	八王子市	狭い道路を歩行者や自転車が通行することに関する不安	・交通事故データ
24	農業	茨城県	各農家の売りたいニーズに対して市場を提供する仕組みがなく、うまくニーズをくみ取る仕組みが望まれる	・生産者データ
25	農業	—	共有農地の活用による地域コミュニティの創生	・市民農園データ
26	農業	—	市場に近い、生産過程の可視化がしやすいなど都市近郊の利点を生かした農業の創生	・農地データ
27	教育	—	特に社会、理科系を中心としたデジタル教育に関するノウハウ共有も可能なデジタル教材を作れないか	・ウィキペディアなどのオープンライセンス物 ・学習に使える様々な情報
28	教育	—	学校と地域の関係性を強化したい	・住民が蓄積する街の情報
29	観光	桜川市	観光面で力を入れているイベントを外部に知ってもらいたい	・観光イベント情報
30	観光	静岡県、千葉市	富士山などの強力な観光資源を共通キーワードに地域全体(複数の自治体)で観光を盛り上げたい	・観光情報
31	観光	—	外国人向けに観光情報を提供したい	・観光情報
32	観光	—	地域の観光資源の掘り起こしと情報発信をしたい	・観光情報